

平成 19年度アウトソーシングアクションプラン 個別業務シート

様式 2

【 部局名： 森林部 】

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	森林計画データ入力等委託業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	森林情報管理システムに搭載されているデータの精度の向上を図るため、造林施業地等の測量図をデジタル化し、樹種、林齢等の属性データを付加して、システムにインストールする。
(3) 予算化の時期 (予定)	9月補正
(4) 発注時期 (予定)	平成 19年 11月
(5) 委託期間 (予定)	平成 19年 11月 ~ 平成 20年 3月
(6) 担当課室・担当者	森づくり推進課 担当者 岩原 世治
(7) 想定する委託先	民間企業
(8) 想定する契約方法	指名競争入札
(9) 想定するアウトソーシング人役	1.34人役
2 アウトソーシングする理由 (何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
<p>森林情報を把握・分析するため森林GISを構築・運用しているが、森林の管理や間伐等の施業の推進に活用するには林層の境界、樹種・林齢、森林所有者の氏名等のデータの精度が十分でない。そうしたデータの精度の向上を図るため造林補助事業や治山事業等の関係書類を利用して、データの修正を手作業で行っているが、年間の施行箇所数は膨大な量に上るため、職員で対応しきれない状態にあり、外部に委託することで今まで入力できなかった施業履歴を森林GISに反映させることができる。</p>	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	正確な森林情報を蓄積することで、不在村地主や管理が不十分な森林を把握できるので、こうした森林を請負等により森林整備等を行うとする者の営業活動がスムーズに行えるようになり、効率的な森林の整備が進む。
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	
(3) 県民の参画、地域の活性化	
(4) その他	